

ひろたいせきしゅつどひん つけたり ど き ざん けつ み せい ひん
広田遺跡出土品 附 土器残欠 ヤコウガイ未製品

【所在地】鹿児島市城山町7-2 県歴史資料センター黎明館

【種別】国指定重要文化財（考古資料）

【指定年月日】平成18年6月9日



昭和32（1947）年から昭和34（1959）年にかけて行われた3回の学術調査の結果、90か所の埋葬跡が検出され、150体以上の人骨および総数44,000点以上の遺物が出土した。それらのうち、指定された出土品は、埋葬跡または人骨に副葬された一括資料で、貝製品2008点、骨角牙製品4点、ガラス玉18点、鉄釣針3点、石製品7点、土器1点、土器残欠52点、ヤコウガイ未製品33点からなっている。

指定品の多くを占める貝製品は、貝輪・貝符・竜佩形垂飾品・有孔円盤状貝製品・二孔板状貝製品・貝玉・貝匙等と種類も豊富で量も多い。南海に生息するゴホウラやオオツタノハ、ヤコウガイやイモガイ等の貝殻を素材とすることも本土での出土例に乏しく大変貴重である。特に貝符や竜佩形垂飾品には、大陸起源の文様と考えられる製品もあり、南島地域における埋葬の実態と貝製品及び素材の交易を示す極めて貴重な資料である。

なお、千葉県にある国立歴史民俗博物館保管の「鹿児島県広田遺跡出土貝製品」152点、附土器残欠2個体分も同時に指定された。